

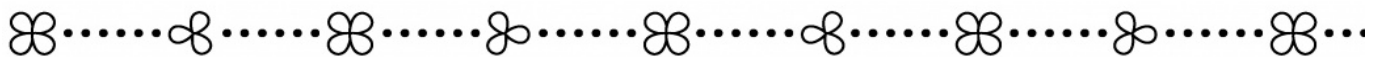
# お盆を健やかに過ごすために

下の表は、大阪府内の地域別の新型コロナウイルス感染症の「定点把握」で、直近1週間の1医療機関当たりの患者数を表しています。府内全体の新型コロナウイルス感染症患者の発生数は、5月下旬から7月末にかけて**増加の一途**をたどっています。(2,75人→14,66人)

正しく感染対策を行い、お盆期間を有意義に過ごしましょう！

新型コロナウイルス感染症定点あたり患者報告数 21～30週 (5月22日～7月30日)

週	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部	府内計
21	2.53	2.46	2.39	2.00	3.13	2.83	3.32	3.05	2.60	3.00	3.15	2.75
22	3.24	2.96	3.68	2.48	4.00	4.03	3.26	3.15	3.20	3.59	2.85	3.33
23	4.82	2.58	6.16	3.57	4.67	5.24	4.00	4.55	3.60	4.14	2.96	4.33
24	4.82	3.38	5.08	4.68	5.38	6.17	3.71	5.10	4.60	3.86	2.92	4.55
25	5.56	3.00	6.05	4.21	5.58	6.10	4.84	5.70	5.80	4.55	4.96	5.16
26	6.60	4.88	7.00	4.82	6.38	7.28	5.44	5.35	5.40	5.36	5.38	5.93
27	8.40	6.83	9.20	4.86	10.17	9.07	9.00	7.70	6.27	6.05	7.23	7.87
28	10.57	9.25	10.98	8.83	11.91	11.93	11.72	9.25	11.27	7.27	8.48	10.22
29	12.77	11.58	14.20	10.97	17.04	16.10	15.06	14.40	12.53	10.14	13.44	13.56
30	12.40	11.00	16.34	12.07	20.74	16.55	15.56	15.85	13.20	10.73	16.00	14.66



## 夏の感染対策のポイント

夏休みやお盆に帰省等で高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は、**感染予防を心がけ体調を整えるようにしましょう。**高齢者や基礎疾患のある方が感染すれば重症化リスクも高まります。

通院や高齢者施設を訪問する時には、感染予防としてマスクの着用が効果的です。



※事業者の判断でマスク着用を求められる場合があります。

資料：厚生労働省（5類感染症移行後の対応について）夏の感染対策のポイント

作成：保健師 小野  
文責：常務理事 大西昭彦